

II 事業の概要

2017年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。

1 重点施策の推進

(1) 第1期中期計画の実施～長期ビジョンの実現に向けて

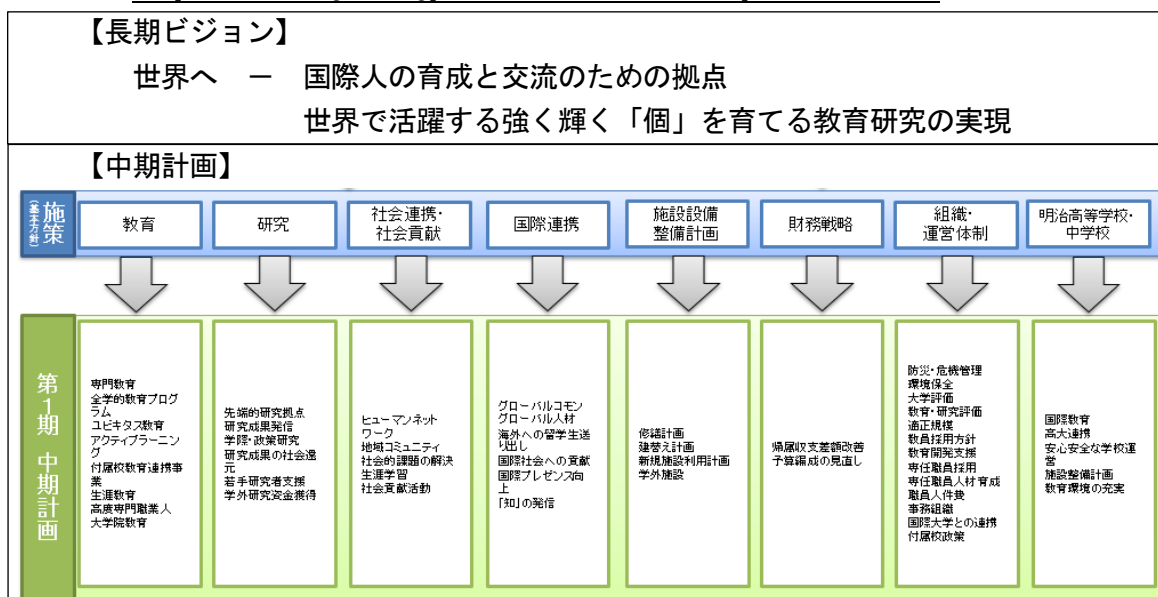
学校法人明治大学中期計画（以下「中期計画」という。）は、「学校法人明治大学長期ビジョン」を具体化するための中期（4年間）の計画を定めたもので、2014年度から2017年度までの計画を「第1期中期計画」として策定しています。

第1期の最終年度である2017年度も、第1期中期計画の各プランを事業計画や予算編成に反映させ、各所管において着実に実行に移しました。

なお、2017年11月には第2期中期計画（2018年度～2021年度）を策定しました。

本学構成員が中期計画を共有し、想いを一つにすることによって、引き続き長期ビジョンの実現を目指します。

※ http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm_plan_ver1.html



(2) キャンパスグランドデザイン～大学全体の地区計画・教育研究施設設備計画

安全かつ高度な教育・研究活動を確保するため、各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、2015年度に今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。今後はこの計画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

(3) 戦略的広報活動の展開～ブランド力を高める広報の推進

広報戦略本部を中心に、教育研究活動及びこれに付随する諸活動に関する情報等を広く学外に発信するための広報戦略を策定するとともに、それに基づく最重点項目を

設定し、本学のブランドを高める広報活動を推進しました。「明治大学広報」、広報誌「明治」等の紙媒体のほか、ホームページ、SNS等各種媒体を通じた情報発信、メディア・記者に対するプレスリリース等により、「旬（しゅん）」な明治大学の情報を学外に発信しました。

① 公式キャラクター「めいじろう」10周年！

本学公式キャラクター「めいじろう」は、2017年で誕生10周年を迎えました。10周年を記念して、様々な企画を実施しました。



ア 特設サイト開設

本学の“宣伝マン”として活躍するめいじろうの10周年を振り返りながら、10周年を彩るさまざまな新企画を紹介する「めいじろう10周年特設」サイトをオープンしました。

イ ゆるキャラグランプリ出場

2017年度の「ゆるキャラグランプリ」に初出場しためいじろうは681キャラがエントリーしたご当地部門で31位の結果となりました。

ウ ご当地めいじろう

本学学生へのアンケート結果から生まれた全国47都道府県の名物や特産品をイメージした「ご当地めいじろう」が完成しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/meijiro/index.html>

② “Incredible Senseis at Meiji University” を公開～世界に誇る研究を動画で発信

日本や世界を牽引する研究を世界に向けて発信するため、PR動画“*Incredible Senseis at Meiji University*”を制作し、特設ページを公開しました。動画の音声は英語、字幕は英語と日本語で表示され、先端数理科学インスティテュート(MIMS)所長の杉原厚吉特任教授と副所長の萩原一郎特任教授、バイオリソース研究国際インスティテュート(MUIIBR)所長の長嶋比呂志農学部教授の取り組みを紹介しています。

社会貢献を目指す最先端の研究成果を、研究者のみならず広く一般の方にもわかりやすく、飽きずに見てもらうため、アニメーションや研究者本人の語りを交え、軽快な音楽やナレーションで工夫を凝らした魅力的な構成の動画コンテンツとなっています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/incredible-senseis/jp/>

(4) オール明治で前へ～ステークホルダー（校友会・父母会）との連携

① 校友会との連携

ア おかえりなさい！～第20回ホームカミングデー開催

10月、駿河台キャンパスにおいてホームカミングデーが開催され、約3,800名の校友やその家族等が来場しました。

イ 第53回全国校友沖縄大会

11月、全国の校友会支部、韓国の海外支部から約900名の校友とその家族

が沖縄に参集し、旧交を温めるとともに、新たな絆も深めました。

ウ 地方出身者対象「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金

校友会は、「校友から明大生へ、襷（たすき）を繋（つな）ぐように、皆さんを応援したい」という願いをこめて、「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金を設けています。この奨学金は、学費等以外にも生活費を必要とする地方出身者に奨学金を給付することにより、地方からの入学を促進することを目的とした給付型奨学金（返還不要）です。なお、採用された学生は、校友会が主催・後援する式典、講演会等に参加しました。

※ <http://meiji-shikon.net/>

② 父母会との連携

ア 父母会総会・父母懇談会

明治大学連合父母会が主催した父母会総会・父母懇談会が5月から7月にかけて、全国57地区父母会で開催されました。懇談会では、学生生活、学業成績、就職等に関して、父母と大学担当者との間で熱心な個別相談が行われました。

イ 父母対象の就職懇談会

首都圏11地区の父母会は合同で、学部3年生の父母を対象とした就職懇談会を10月に本学アカデミーコモンで開催しました。父母約900人が参加した懇談会では、父母の不安を少しでも和らげ、子息・子女への効果的な支援とコミュニケーションを促すために、本学の就職支援体制の説明、専門家による講演会、内定者（4年生）による就職活動体験報告が行われました。

(5) 多くの方々からの熱いご支援～募金活動の展開

① 寄付の実績

2017年度に本学が受けた寄付金の総額は、5億8923万2363円（前年度比約1億2400万円の増）でした。

寄付金の主な内容については次のとおりです。

ア 未来サポーター募金

奨学、国際化、研究、スポーツ及びキャンパス整備の5つの資金（使途）から構成される募金制度です。主な募集対象者は校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人で、寄付金の用途を寄付者自身が上記5つの中から選択することができるのが特徴です。

2017年度は3007件、約2億550万円の寄付を賜りました。なお、寄付による書籍等の販売収益からなる「本棚募金」寄付金約351万円も含まれています。

7月には各資金における前年度の活用結果をまとめた「活動報告書」を寄付者の方へお送りし、寄付金の活用結果を報告しました。

10月のホームカミングデーでは、現金寄付の受付を行い、寄付者の方から直接寄付金をお預かりしました。また、当日は休憩・交流スペースとして「サポーターズラウンジ」を開設し、寄付者の方々にご利用いただきました。

その他、寄付に関する情報や寄付者芳名等を掲載した「明治大学広報募金特別号」を9月と1月に発行し、全国の校友へ向けて送付しました。

イ 教育振興協力資金

本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生、大学院生、専門職大学院生、法科大学院生の父母と明治高等学校・中学校の父母を対象に募集しています。

2017年度は373件、約6709万円（前年度比約2620万円の増）の寄付を賜りました。

ウ その他の寄付金

287件、約3億1665万円（前年度比約9700万円の増）の寄付を賜りました。主な内訳は、学術研究奨励寄付金に約1億381万円、校友会奨学金に約2000万円、法曹会基金に約1745万円などです。また、校友の方から、国家試験指導センター教育振興基金と大学院教育研究振興資金（新設）に5000万円ずつ、計1億円の寄付を頂戴しました。

② 寄付者顕彰制度

本制度は、本法人に対する寄付金の総額に応じた顕彰を行うべく、2015年度に新しく制定されました。対象者は本法人が募集する各種寄付制度への寄付の累計額が100万円以上の個人で、7月には累計額500万円以上の方にお越しいただき、寄付者交流会を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

2 教育改革と教学運営体制の整備

(1) 入学定員・収容定員を変更—2018年度入試から

文部科学省から収容定員増加の認可申請が正式に認められたことに伴い、2018年4月入学者用の入学試験から、入学定員を変更して学生募集を行いました。

(2) 総合的教育改革の推進

『教育力』の飛躍に向けた総合的教育改革の第一歩として、2017年度から1コマ100分を基本とする新たな授業時間割や2学期4ターム制を全学一斉に導入しました。新時間割では、これまで「1コマ90分」の授業時間を「1コマ100分」とし、7時間制を6時間制に、授業期間を15週から14週に短縮しました。また、100分の授業時間を、50分ごとの「モジュール」という時間単位に区分しました。

新たな学年暦では、1学期14週の新たな授業期間を7週ごとに2つのタームに区分し、春学期と秋学期の「2学期4ターム制」としました。この学年暦の導入により、1ターム=クォーター期間（7週）で完結する授業が可能となり、学生が容易に海外留学に挑戦できる環境が整いました。

これにより、学修の目的に合わせた柔軟な授業設計や学生の海外留学が容易となり、本学のさらなる教育力向上が期待されます。

本学では、単位制度に則った授業時間を確保するための議論を2012年からスタートし、これを契機に本学の教育力を飛躍的に向上させる抜本的な改革に繋げる「総合的教育改革」を取りまとめました。この総合的教育改革は、文部科学省に採択された本学のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業構想の基盤にもなっており、新たな授業時間割と学年暦は、その第一歩であり礎となるものです。

(3) 教育開発・支援センターの取り組み～新任教員研修

本学の沿革や教育理念、教育の心構えなどについての理解を促し、教員自身の自己啓発意識を高めることを目的に、今年度採用された教員を対象とした「新任教員研修会」を開催しました。大学入試や就職支援状況等について詳細に説明するとともに、「心の病を抱えた学生の理解と対応」をテーマに人権講演会も行いました。

(4) 内部質保証と I R (Institutional Research) 環境の整備・推進

① 自己点検・評価

2017年度自己点検・評価(2016年度報告書)は、自己点検・評価全学委員会委員長である学長から評価委員会委員長である理事長に12月に提出されました。これを受け、学外有識者等も加わる評価委員会を1月に開催し、教育・研究の水準と質の維持・向上を図るための提言を行いました。その評価結果は、報告書の一部として本学ホームページに公開しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

また、自己点検・評価全学委員会では、2014年度大学評価結果等を基に「第3期改善アクションプラン(3カ年計画)」を策定し、2015年度から2017年度にかけて計画的に改善をはかり、その進捗を管理することとしました。課題一覧はホームページで公開しています。

※ http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/action_plan/index.html

さらに、スーパーグローバル大学創成支援事業に示した学習成果の測定を含め、本学学生の学習時間、学習行動を調査するため「大学における学びに関するアンケート」を実施しました。

② I R データベースの整備・試行

2017年度は、志願・入学に関わるデータ、及び進路・就職に関わるデータについて、既存の I R データベースに連携させることにより、入学から卒業までのデータを一元化し、学部長会懇談会で報告しました。I R 運営委員会委員がこれらデータを使用し分析レポートを作成及び統計サンプル(Fact Book)として発行し、データの利活用の幅を広げています。

3 教育関連活動

(1) 学部・大学院の整備等

① 大学院の専攻設置等

2017年度から、大学院の専攻を次のとおり変更しました。

ア 大学院理工学研究科建築・都市学専攻、情報科学専攻、数学専攻及び物理学専攻の設置並びに同研究科建築学専攻、基礎理工学専攻及び新領域創造専攻の募集停止

イ 大学院先端数理科学研究科先端メディアサイエンス専攻及びネットワークデザイン専攻の設置

② 学部、大学院の開設等準備

開設等に向けて必要な以下の準備を行いました。

ア スポーツ科学部(仮称)の設置検討

(2) 教育内容・方法の見直しと成果指標の確立

① 大学全体の3ポリシーの策定及び学部等の3ポリシーの検証

全学3ポリシーの策定とこれに基づく各学部3ポリシーの見直しについて取り組みました。

② 学習成果の測定方法

すでに学習成果の測定が行われているプログラムの測定手法を参考に、学習成果の測定方法の開発に取り組みました。

(3) 大学院の強化と充実

大学院では引き続き、5年制一貫教育プログラムや英語学位プログラムの開設等の検討を進めました。

(4) 意欲ある学生の安定的な確保

① 時代の要請に対応する入試改革

高大接続改革の動向に的確に対応できるよう、入学者選抜の改革について検討を進めました。

また、商学部及び国際日本学部では、2018年度入学試験（2018年4月入学）より、一般選抜入試において「英語4技能試験利用方式」の試験を実施しました。

② 付属校との連携

付属校である明治高等学校との高大連携事業について見直した結果、生徒の志望学部選択にかかる早期の支援を図ることを目的に、2017年度から「高大連携講座」を現在の3年次の設置から志望学部決定前の2年次に変更しました。2017年度実施分については、3年次も対象としました。

(5) 大学間連携による教育の充実

① 法政大学、関西大学と3大学で連携協力に関する協定を締結

3大学はいずれも1880年代に創立され、東京と大阪という都市部に位置する私立の総合大学です。今回の協定は、3大学が連携協力して教育・研究活動の一層の充実と質の向上を図り、学術の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的としています。

② 順天堂大学

本学と順天堂大学は、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する包括協定を2015年12月に締結しました。2017年度は、図書館の相互利用をはじめ、リバティアカデミーで包括協定締結記念講座「江戸・明治期の医学・医療の歴史—歴史を読み解く新たな視点—」（全8回）を開催しました。

③ 聖マリアンナ医科大学

2013年度に大学間交流に関する包括協定を締結した聖マリアンナ医科大学との共同研究会を2017年7月に実施しました。今回の研究会では、2016年度の研究会を契機に開始した共同研究について両大学の教員がそれぞれ研究内容を発表し、各大学が有する研究ニーズ（需要）とシーズ（種）を共有することで、新たな共同研究の発足を促すことを目的に実施されました。

4 研究関連活動

学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）は、研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、研究拠点の育成、研究の国際化の推進、成果の社会還元、を目的としています。

2017年度においても機構の下に設置されている「研究企画推進本部」（研究政策の企画・立案から実施）及び「研究活用知財本部」（産官学連携活動を推進）を両翼とし、さらに附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進しました。

各研究機関等における2017年度の主な研究活動は次のとおりです。

(1) 拠点型事業の獲得・発展・継続～各インスティテュート、研究センターの活動

① 数理学の国際拠点～先端数理学インスティテュート（MIMS）

MIMSは、社会との関わりを重視した数理学の発展・普及を図ることを目的に社会と自然に係る現象の数理科学的解析を課題とする国際的研究拠点です。2014年度には、数学・数理学分野で京都大学、九州大学に続いて、私学初の共同利用・共同研究拠点として認定されています。

2017年度は、2016年度に採択された文部科学省研究ブランディング事業「Math Everywhere：数理学する明治大学ーモデリングによる現象の解明」の母体としても研究活動を推進し、「錯覚ワークショップ」や研究集会型・共同研究型等のイベントを開催しました。

※ <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

② クローンブタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIIBR）

MUIIBRは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、農学、特にAnimal Biotechnologyを基盤に、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を行うことを目的とした国際的研究拠点です。

2017年度は、稀少難治性疾患モデルブタの繁殖・生産・供給システムの開発に成功しました。

※ <http://muiibr.com/>

③ 世界平和と人類の福祉への貢献を目指して～国際総合研究所（MIGA）

MIGAは、国際的な諸問題を研究課題とし、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく国際的研究拠点です。

2017年度は、国際シンポジウム「海洋安全保障のグローバル化に向けて」を開催しました。なお、MIGAは、2017年度をもって閉所となりました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

④ 黒曜石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設である黒曜石研究センター（長野県小県郡長和町）は、機構の附属研究施設として「ヒトー資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。2017年度は、10月に国際ワークショップ「海洋酸素同位体ステージ2およびステージ1初頭の古環境と石材獲得：比較の展望」を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

⑤ 植物工場基盤技術研究センター

本センターは、経済産業省の平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金事業の補助金を受けて設立されたもので、植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つです(私立大学では本学のみ)。2017年度は普及活動の一環として、体験型学習講座「植物工場でやさいを育ててみよう」などを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

⑥ 地域産学連携研究センター(生田連携センター)

本センターは、本学が有する技術シーズ・知的資産を有効活用し、川崎市をはじめとする神奈川県における新技術・新事業の創出、地域中小企業を育成する産学連携促進事業の実施、起業・経営セミナー等の開催、地域中小企業者・住民への施設の貸出し等の地域連携交流を促進することを目的としています。

2017年度も、積極的に経営支援セミナーや補助金申請書作成セミナーを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

(2) 研究活動の適正化に向けた研究不正防止体制の整備

文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえ、「研究費の適正管理に関する規程」、「研究活動の不正行為にかかわる通報処理に関する規程」等に則って取り組んでいます。

また、研究不正通報等の受付窓口を法律事務所に委託するとともに、防止計画推進部署として駿河台キャンパスに「研究倫理オフィス」を開設しています。

(3) 外部研究資金の獲得

公的資金を原資とする研究費を中心に、外部研究資金の獲得拡大に向けた支援を行っています。加えて、大学から予算措置される研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究、国際共同研究等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

※ <https://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

① 公的研究費による研究受入実績

2017年度は、新規課題18件と継続課題38件、あわせて56件の研究課題を受け入れました。文部科学省所管の科学技術振興機構(JST)及び日本学術振興会(JSPS)からの研究課題が半数になりますが、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、日本医療研究開発機構(AMED)をはじめ、その他省庁及び資金配分機関からも幅広い分野で受け入れています。

② 2017年度「科学研究費助成事業」

本件の採択件数は新規と継続分をあわせて295件、金額は6億7041万円で過去最高を記録しました。

文部科学省が発表した「平成29年度科学研究費助成事業の配分について」のランキングによると、本学は、新規と継続を合わせた採択件数では全国約1300の研究機関のうち第53位、採択額では全国52位となりました。

また、「細目別採択件数上位10機関（過去5年の新規採択の累計数）」では、本学は16分野でランクインしており、「数学基礎・応用数学」の分野では2年連続で第1位となりました。

- (4) **世界に向けた研究発信～日本初！発酵熟成肉製造技術「エイジングシート」を開発**
農学部の村上周一郎准教授は、産学連携事業の一環として、(株)フードイズムと熟成肉の共同研究を開始し、安定した品質でかつ迅速に発酵熟成肉を製造することができる「エイジングシート」を開発しました。このエイジングシートは、肉の熟成に利用できる人体に無害な“カビ”を純粋に培養し、回収した胞子を滅菌した布に付着させたものです。このシートに包まれた肉は、熟成に必要な“カビ”が短期間で増殖することによって、腐敗の防止につながるとともに、熟成が促進されます。このシートを安定的に製造し、販売と展開を目的とした明治大学発ベンチャー企業の(株)ミートエポックが設立されました。

5 社会連携・社会貢献

(1) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構です。社会連携機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

① 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2017年度も「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。駿河台、和泉、生田、中野キャンパス及び黒川農場の5拠点で、教養・文化、ビジネス、資格・実務、語学、特別企画、オープン講座等、年間約440講座を開講し、受講者数は2万名を超えました。

※ <https://academy.meiji.jp/>

② 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。創立者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）やキャンパス設置自治体をはじめ、様々な自治体等と連携して公開講座を開催するなど、地域活性化のための連携事業を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

(2) 図書館、博物館の充実

① 4キャンパスの図書館

本学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢

献の拠点として活動を行っています。

駿河台キャンパス・中央図書館は、2018年1月には、2001年3月開館以来の来場者が1,400万人を突破しました。

※ <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

② マンガ図書館

マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置され、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区神田猿樂町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区鶴巻町）をもって構成されています。2017年度も広く社会に公開（有料）するとともに、企画展やトークイベントなどを開催しました。

ア 吉住渉トークイベント

イ 聖悠紀「超人ロック」生誕50周年展

ウ 日本におけるチェコ文化年2017～チェコ・コミックの100年展

※ http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html

③ 博物館

本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、年間来館者は7万人を超えています。

2017年度は、特別展「鳥取の工芸文化」及び展示会「新収蔵・収蔵資料展2017」、「進化する不可能立体錯視」、「十手と錦絵―描かれた捕者の世界」等を開催しました。

その他、博物館機能の拡充・強化の一環として、「ICTミュージアム（仮）」の実現に向けてそのデジタルコンテンツの充実・強化に取り組みました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

(3) グローバル連携の推進

本学は2010年度から国連アカデミック・インパクト（UNA I）に参加しています。2017年度も難民学生の受け入れや、UNHCR難民映画祭の開催、多様化する地球規模課題に対応・解決できる人材の育成を目的とした「国際協力人材育成プログラム」を実施するなど、多角的な取り組みを行いました。

① 「国際協力人材育成プログラム」

本学及び立教大学の学部学生に向けて、全て英語により展開する共同教育プログラムです。2大学の持つ教育リソースと、世界的な評価が高い大学院大学である国際大学が、国際協力に関する教育資源を提供し、国際協力・国際公務分野を目指す人材、「国際協力人材」を育成するプログラムです。

② UNHCR難民高等教育プログラム特別入試

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）及び国連UNHCR協会との協定に基づき、難民を対象とした入学試験を実施しています。学部学生として高等教育の機会を提供することにより、当該学生が高い教養と専門性を身につけ、国際社会において平和の構築や社会の発展に寄与することを目的としています。

③ 土屋学長らがアントニオ・グテーレス国連事務総長を表敬訪問

5月、ニューヨークにある国際連合事務局にて、明治大学名誉博士アントニオ・

グテーレス氏の国連事務総長就任に際し、表敬訪問をしました。今回の訪問では、本学が実施する難民を対象とした入学試験の現状、国連難民映画祭をはじめ難民問題をテーマに行う本学の取り組みについて報告を行い、これらに対する助言もいただきました。

(4) 環境保全に配慮した大学の運営

2017年度も、環境保全にかかわる教育活動の一環として、教職員・学生へ環境問題・環境保全にかかわる情報とともに、本学の環境保全活動を紹介し、関心を高めるため、「ECO ACT MEIJI 明治大学環境展」を4キャンパスで開催しました。パネル展示、資料配布、学内エコツアー（リバティタワー内の環境配慮施設見学会）を実施し、地球温暖化、エネルギーなど、私たちを取り巻く環境問題や、本学の環境保全への取り組みについてわかりやすく解説しました。

(5) 震災復興支援

2017年度も、学生ボランティアによる東日本大震災・熊本地震における被災者支援や震災の風化を防ぐことを目的に、震災復興支援センターにおいて様々な支援活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

① 震災復興に関する協定を更新

2017年度は、岩手県大船渡市と宮城県気仙沼市との震災復興に関する協定を更新しました。引き続き震災後の地域課題の解決に向けた支援活動を行うため、有効期間を締結日から2年間とした上、協定更新に至りました。

② 宮城県気仙沼市で「アクティブ・ウーマンズ・カレッジ」開催

本講座は、気仙沼市から新たな要請を受け、震災復興支援センターが企画・コーディネートしたものです。全7回のうち6回を本学専任教員が担当し、25人が受講しました。

③ ホームカミングデーにおける「震災復興支援プロジェクト」

第20回ホームカミングデーにおいて、学生ボランティアが企画・運営する被災地の物産展や東日本大震災・熊本地震写真展などを開催しました。

6 国際化の推進

2017年度も、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指して、国際化に関する取り組みを積極的に推進しました。

(1) 「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）

本学の取り組み「世界へ！MEIJI8000 -学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成-」が、2014年に文部科学省スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB「グローバル化牽引型」に採択されました。これを受け、2017年度も学生の主体的な学びを育み未来開拓力に優れた人材を育成し、「主体的に学び、考え、行動し、多様な価値観の中で、新たな未来を切り拓くグローバル人材（卒業生毎年8,000人）」を世界に送り出していくべく、積極的に事業を推進しました。

(2) 「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」

文部科学省「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」のタイプB「ASEAN地域における大学間交流の推進」に、本学構想「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」が2016年に採択されました。

本構想では、このようなCLMV諸国の実態や実状に鑑み、日本の過去の教訓を踏まえた「先進的なアジア型の将来都市構想」と、これを実現する「共創的教育システム」を創造することを目的としています。

2017年度は、政治経済学部、理工学部及び情報コミュニケーション学部を中心に、短期留学プログラムや学生受入プログラムを実施しました。

(3) 戦略的提携校政策

① 協定校・協定機関の拡充

海外の大学等との協力・協定については、2017年度も積極的に新たな協定を締結し、2018年3月末時点での協定校・協定機関数は、学部間等協定も含め、51カ国・地域、329大学・機関・部局等となりました。

また、欧米やASEAN地域のトップスクールに加え、中南米、ロシア、中東、アフリカ等、新興国との連携を強化しました。

② カリフォルニア大学系サマーセッション

2011年より政治経済学部が開始したカリフォルニア大学バークレー校サマーセッションへの学生派遣が、2016年にはカリフォルニア大学系4校への学生派遣に発展したことに伴い、2017年度より、他学部からも学生が参加できるようになりました。

(4) 外国人留学生の受入れ・学生の海外送出し強化

2017年度の外国人留学生を受入れ数は2,077名（学部：1,184名，大学院：552名，短期プログラム：341名），海外送出し留学生数は1,796名（長期：484名，短期：1,312名）となりました。

優秀な海外からの留学生を獲得するために、入口から出口までの一貫した支援政策に基づき、Web出願、日本語eラーニングにおけるコンテンツの充実、戦略的広報のためのWebページの活用、魅力あるカリキュラムの整備、就職支援プログラムなどを展開しました。

海外留学を目指している学生には、留学カウンセリング、経済的支援、留学説明会・報告会など、多様な支援を実施しました。

① 「海外トップユニバーシティ留学奨励助成金」を新設

本学の協定校で世界屈指の大学である米国・スタンフォード大学とペンシルベニア大学などへ留学する学生を対象に、1学期で1人あたり最大300万円を支給し、留学費用の経済的負担の軽減につなげます。

(5) 海外拠点

国際連携を積極的に推進するため、海外拠点としてマレーシア事務所、北京事務所及び明治大学アセアンセンター（タイ・バンコク）を設けています。

「明治大学アセアンセンター」は2012年度に採択された文部科学省「大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業の「日本ASE

ANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」及び2016年度採択の「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」の展開拠点として活用されているほか、昨年度に引き続き遠隔授業、短期学生交流プログラムなどを実施しました。

(6) 外国人留学生等交流イベント

2017年度も海外の学生に長期休暇を利用して日本を学んでもらえるよう、下記の3つのプログラムを実施しました。日本語はもちろん、法律、政治経済、そしてポップカルチャー、様々な体験学習と講義を組み合わせた充実したカリキュラムを用意し、短期間でも満足してもらえる内容となっています。

① Cool Japan Summer Program

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/cooljapan/index.html>

② 日本語短期研修プログラム（夏期・冬期）

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/mjlp/index.html>

③ Law in Japan Program

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/law/index.html>

7 学生支援

(1) 奨学金の充実

将来の有為な人材として期待される学生が修学に専念できる教育環境を整えるため、奨学金制度に基づき、給費奨学金・貸費奨学金等各種奨学事業を実施しました。

また、災害に対する奨学金として、熊本地震の被災者への給費型奨学金による経済支援（明治大学災害時特別給費奨学金）を2016年度に引き続き実施しました。

(2) 学生参加型プログラムへの支援

① ボランティアセンター（VC）

4キャンパスに設置されているボランティアセンターは、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

駿河台キャンパスでは「防災」、和泉キャンパスでは「福祉」、生田キャンパスでは「サイエンス」、中野キャンパスでは「社会連携」をそれぞれテーマとし、学内・学外での活動、地域との交流、復興支援など、特色ある活動を展開しました。

ア 災害救援ボランティア講座（駿河台VC）

イ 杉並区高齢者との「お茶会」（和泉VC）

ウ 子ども向けワークショップ「科学教室プログラム」（生田VC）

エ allなかの防災ボランティア体験デー（中野VC）

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

② M-Navi プログラム（Meiji Navigation Program）の推進

学部や学科で学び身に付けていく「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらを上手に活用していくための「力」（社会人基礎力）を身につけるためのナビゲーターの役割を果たす学生支援プログラムの一つです。

2017年度は、「神宮へ行こう（東京六大学野球観戦）」、「神輿を担ごう」、「ROAD

T0 東京オリンピック・パラリンピック」,「大使館見学」,「社会見学—卒業生を訪ねて—」,「観劇プログラム」,「農業体験」等の24プログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/6t5h7p00000hfuo7.html>

(3) 学生相談室の活動

相談内容の約3分の2が精神衛生に関わるものであるとともに、SNSのトラブルに関する相談など社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから、学生相談機能の拡充を図っています。また、心身の健康維持と予防に関わる行事も開催しました。

- ① Yoga 体験! ~ココロとカラダを整えよう~
- ② バランスボール体験! 姿勢と体調を整えよう
- ③ 浴衣着付け体験
- ④ ボイストレーニング~ピュアボイスに出会い、心身のバランスを整えよう~

※ <http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

(4) 観る人に感動を~スポーツ関係

① 第29回ユニバーシアード競技大会 明大勢が8種目でメダルを獲得

ア 陸上/男子20km競歩団体に競走部の野田明宏選手(商4)が金メダルを獲得

イ 競泳/水泳部の松元克央選手(政経3)が男子4×200m自由形リレーで金メダル、男子4×100mメドレーリレーで銅メダルを獲得

ウ 卓球/男子シングルス・男子ダブルスで卓球部の森蘭政崇選手(政経4)が金メダルを獲得、男子団体戦で森蘭政崇選手(政経4)と龍崎東寅選手(商1)が銀メダルを獲得

エ 野球/硬式野球部から4名が選出された日本代表チームが金メダルを獲得

オ サッカー/サッカー部から2名が選出された日本代表チームが金メダルを獲得

② 硬式野球部

ア 秋季リーグ戦 勝率で惜しくも第2位

イ 秋季フレッシュトーナメント 優勝

ウ 齊藤大将投手(政経4)が埼玉西武ライオンズから1位指名を受けました。また、OBからも2名が指名されました。

③ ラグビー部

ア 12月、関東大学ラグビー対抗戦の最終戦において早稲田大に快勝し、今シーズンの成績を5勝2敗とし、対抗戦2位。

イ 1月、第54回全国大学ラグビーフットボール選手権(大学選手権)の決勝に臨み、帝京大学に惜しくも1点差で敗れ、19年ぶりの準優勝となりました。

ウ 2月と3月に学生の国際交流とラグビースキルのレベルアップを目的とした国際交流マッチを、オーストラリアのシドニー大学とアメリカのイエール大学と実施しました。

④ 輝かしい活躍

ア サッカー部 5名がJリーグ各チームに加入内定

イ スケート部アイスホッケー部門 関東大学選手権、関東大学リーグ戦、日本学生選手権で優勝し学生大会3冠を達成

ウ 卓球部 ワールドツアー・グランドファイナルで森菌政崇選手（政経4）が大島祐哉選手と組んだ男子ダブルスで2年ぶり2回目の優勝

エ 水泳部 インカレ男子総合3連覇

オ 拳法部 全日本学生拳法選手権大会で優勝し、インカレ6連覇を達成

カ 少林寺拳法部 第51回少林寺拳法全日本学生大会で総合優勝



(5) 就職・キャリア形成をバックアップ

① 就職キャリア支援センター

本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより、学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り、社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

2017年度も「就職・進路ガイダンス」、「エントリーシート対策講座」、「就職活動体験報告会」、「各種業界研究会」等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

② インターンシップの充実

本学のインターンシップは、全学版インターンシップ、自己開拓型インターンシップ（大学経由応募型と直接応募型）と大きく分けて3つ種類あります。全学版のインターンシップは本学と受入機関の間で協定を結んだ上で実施しており、2017年度も多数の企業等に協力していただきました。

また、グローバル人材に求められる力を学ぶ機会として、他大学生との交流も含め海外インターンシップをベトナムと上海で行った。

③ 外国人留学生への就職サポート

日本国内で就職を希望する留学生に特化した就職支援を手厚く行っています。2017年度も、日本での就職活動の基本的な進め方を指導する「就職・進路ガイダンス」をはじめ、様々な講座を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/ryuugakusei.html>

④ 都道府県と就職協定を締結

2017年度は大阪府、岡山県、鹿児島県、熊本県、高知県、佐賀県、鳥取県、新潟県、福井県と学生の就職促進に関する協定をそれぞれ締結しました。当該地域の出身者やその地域への就職に関心のある学生に対し、企業情報・生活情報を提供するなど就職活動を支援することにより、就職先の選択の幅を広げることを目的として締結されました。

8 男女共同参画と平等の実現

2016年12月に基本方針や行動計画等をまとめた「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました。この基本計画の実施期間は、2016年度から2019年度までです。2017年度も引き続き基本方針に沿って推進しました。

なお、2014年度から2016年度に取り組んだ平成26年度文部科学省科学技術

人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の事後評価が2017年度に実施され、本学は総合評価「A」となりました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/diversity/>

9 入学試験関連

(1) 2018年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験63,416人、全学部統一入学試験21,622人及び大学入学センター試験利用入学試験35,241人の合計120,279人となり、12年連続で10万人を超えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>

(2) イベント関係等

① オープンキャンパス2017～過去最多の6万人超が来場～

受験生等に向けてキャンパスを開放し、大学生活の一端を体験してもらう「オープンキャンパス」を、駿河台・生田・中野の3キャンパスで8月に計7日間開催し、過去最多となる6万人以上の高校生やその保護者らが本学を訪れました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/index.html>

② 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ！の開催

2017年度も全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明治大学フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談コーナー等を設け、本学の魅力を伝えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/festa/index.html>

10 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来54万人を超える卒業生を輩出してきました。

2017年度は、各学部の卒業生7,084名（うち9月卒業201名）、大学院の修了生は博士前期課程610名（うち9月卒業13名）、博士後期課程49名（うち9月卒業3名）、専門職学位課程235名（うち9月卒業62名）、高等学校・中学校の卒業生435名（高等学校274名、中学校161名）となりました。

11 教育研究環境の整備

本学のより一層の発展に寄与するため、教育研究環境の整備等を行いました。

各キャンパスからの要望や本学の財政状況等を踏まえ、2015年度に今後10年間を見据えた大学全体の施設建設計画に係る優先順位を策定しました。引き続きこの計画に基づき、教育施設、研究施設、学生環境の整備を推進します。あわせて、安全かつ高度な教育研究環境を守るため、既存施設の修繕、改修を適切に実施していきます。

12 学校法人の管理・運営

(1) 格付投資情報センターから「AA」の格付を取得

4月5日に、株式会社格付投資情報センター（R&I）から「AA」[格付けの方向

性：安定的] の格付評価を受けました。これは、本学の持つ教育・研究の質の高さと学生募集力、就職実績、卒業生の厚み、国際化推進・教育力の向上を目的とした改革への取り組みなどが総合的に評価されたものです。

(2) 教育の情報化推進と情報環境整備

① メディア授業の充実

2017年度は資格課程、経営学部、情報コミュニケーション学部、会計専門職研究科、司書講習(社会人対象)及びリバティアカデミーにおいて実施されました。

② デジタルコンテンツの発信

2017年度もフォーラム・セミナー・イベント等を収録の上、大学HPやPodcastを通じて積極的に公開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ubiq/contents/index.html>

(3) 防火・防災・危機管理体制関連

大規模災害の発生等を想定し、学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルに基づき、駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパス、黒川農場及び明治高等学校・中学校において防災訓練等を実施しました。

(4) 付属校・系列校政策

法人の健全な運営及び教育研究活動の永続的な発展のためには、学生の「数」と「質」の確保が不可欠です。学生の「数」と「質」の確保に向けた方策のひとつとして付属校・系列校政策が重要である、との認識を共有し、付属校・系列校強化推進について具体的に検討を行ってきました。推進にあたっては、学校種、立地、規模、設置形態等の課題について慎重に見極めながら、あらゆる可能性を視野に入れた検討を継続しました。

(5) 系列法人「国際大学」との連携

本学の系列法人である学校法人国際大学とは、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することにより、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現に向けて、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行いました。

2017年度は協定の最終年度を迎え、今後の連携について両法人で協議を行った結果、協定期間満了日である2018年3月31日をもって系列法人に関する協定を終了しました。教育研究活動の連携は引き続き実施していきます。

※ 国際大学HP <http://www.iuj.ac.jp/ja/>

(6) 事務組織の改善・検討

2017年度は、事務組織を改編し、新たに「人事部」、「大学支援部」を設置しました。

人事部は、本学が持続的に発展していくために、大学の構成員として一翼を担う職員の個々の能力を向上させ、人事機能及び職員組織全体の高度化を目指します。人事課(総務部より改編)と人事企画課(新設)の2課から成ります。

大学支援部は、校友や父母に対し、大学からのタイムリーな情報やサービスの提供などの支援を強化することで、より身近な存在となる大学への強化や理解の深化を図ります。大学支援事務室(旧募金室)、校友連携事務室(旧校友課)、父母会連携事務

室（旧父母会事務室）の3事務室で構成されます。

このほか、ユビキタス教育推進事務室が教育支援部から情報メディア部に移管されました。また、大型プロジェクト研究推進事務室は廃止され、その事業は研究推進部内で継続されます。

1.3 付属高等学校・中学校

(1) 国際教育の推進及び特色ある教育の実現

① 海外語学研修の実施

2017年度も長期休暇を利用した海外語学研修を夏・春の2回実施しました。

ア 夏期海外語学研修

カナダ・バンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）キャンパスを拠点に開催された、現地ボドウェル高校主催のプログラムに参加しました。中学生と高校生それぞれが2週間コースまたは3週間コースに参加しました。

イ 春期海外語学研修

オーストラリアのサンシャインコーストにて実施され、中学3年生から高校2年生が参加しました。自然豊かな環境の中、参加生徒は10日間を通してホームステイの上、午前中は語学学校で授業、午後は各種アクティビティを体験しました。また、現地の学校訪問を行い、生徒達と交流しました。

② 中学生イングリッシュ・キャンプを実施

2018年3月、福島県にあるブリティッシュヒルズにて、3日間にわたって、イングリッシュ・キャンプを実施しました。43名の本校中学生が、語学だけではなく、英国の伝統文化をも学ぶプログラムに参加しました。

③ 「スピーチコンテスト」「イングリッシュ・プレゼンテーション」を開催

2017年度も、英語による「スピーチコンテスト」及びパワーポイントを使った「イングリッシュ・プレゼンテーション」コンテストを開催しました。これらの行事では、英語による発信力強化を図るとともに、入賞者には「鶴澤聡明教育振興・奨学金プログラム」奨学金が給付され、海外語学研修及び海外体験プログラムに参加しました。

④ 視察・学校訪問受け入れ及び本校班活動での海外訪問の実施

スウェーデンのトンバ高校、オーストラリアのフェアヒルズ高校の生徒が本校を訪問し、ホームステイ受け入れとともに学校生活の体験を行いました。シンガポールの高校生の訪問もあり、図書班との交流をしたり、吹奏楽班と一緒に迎賓館で交流演奏を行ったりしました。

またモンゴル、サウジアラビアの教育関係者の視察を受け入れました。応援指導班は3月にオーストラリアの高校を訪問し、パフォーマンスと交流を行いました。

(2) 高大連携の推進

① 高大連携講座

高校2・3年生に対して、志望学部選択や明治大学進学後のスムーズな講義受講に資するよう、明治大学の教員が調布キャンパスで年間を通して各学部の基礎的な内容の授業を実施しました。

② プレカレッジプログラム

高校在学中（高校3年生対象）に明治大学の授業の一部を受講し、修得した単位が、明治大学入学後に学部卒業要件単位として認定される制度を2017年度も実施しました。

③ サマーセミナー，スプリングセミナー，ウィンターセミナー

明治大学と連携し、資格の取得、英語力の向上、進路決定の参考等の目的で、夏休み、春休み及び高校3年生の最終学期に集中講座として実施しました。「法学検定4級チャレンジ講座」「TOEIC講座」「簿記講座（2級・3級）」「実験講座（化学・物理）」「コンピュータプログラミング講座」なども、明治大学の各キャンパスや本校で実施しました。

※ http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/feature/kodai.html

(3) 「卒業生顕彰式」を挙行

これは、本校を卒業後、学術・文化・芸術などの分野で活躍し、優秀な成果を収めた卒業生を称え、在校生の模範となるよう顕彰するもので、明治大学の学部長奨励賞を受賞した現役明大生や司法試験・公認会計士試験の合格者など卒業生32名を表彰しました。

以 上

参考資料

(1) 海外協定校一覧(2018年3月31日現在)

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延边大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財經大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		內蒙古工業大学	○	
13		大連外国語大学	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海對外經貿大学		
21		南京財經大学		
22		中央民族大学	○	
23		大連海事大学		
24		香港中文大学	○	
25	韓国	梨花女子大学	○	
26		高麗大学	○	
27		忠北大学	○	
28		同德女子大学	○	
29		慶北大学		
30		仁荷大学	○	
31		大邱大学	○	
32		淑明女子大学	○	
33		慶尚大学	○	
34		西江大学	○	
35		延世大学		
36		嶺南大学	○	
37		中央大学		
38		大田大学	○	
39		全北大学		
40		慶熙大学	○	
41		漢陽大学	○	
42		濟州大学	○	
43		崇実大学	○	
44		聖公会大学		
45	韓國外国語大学	○		
46	台湾	国立台湾大学	○	
47		中国文化大学	○	
48		国立虎尾科技大学	○	
49		国立台北大学	○	
50		国立嘉義大学	○	
51		中原大学		
52		国立屏東科技大学		
53		南台科技大学		
54		国立高雄応用科技大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
55	台湾	環球科技大学		
56		淡江大学		
57		国立交通大学		
58		国立台湾師範大学	○	
59		国立政治大学	○	
60	ベトナム	ハノイ大学		
61		ハノイ大学	○	
62		ベトナム国家大学ハノイ外国語大学	○	
63		ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学		
64		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学		
65		貿易大学(ハノイ)	○	
66		ホーチミン市建築大学		
67		ベトナム社会科学学院		
68	ラオス	ラオス国立大学		
69	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
70		マレーシア科学大学	○	
71		マラヤ大学	○	
72		マレーシア・サラワク大学	○	
73		ペトロナス工科大学	○	
74		マレーシア・サバ大学		
75	ミャンマー	ヤンゴン外国語大学		
76		ヤンゴン工科大学		
77	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
78	タイ	アジア工科大学院		
79		シーナカリンウィロート大学		
80		泰日工業大学		
81		チェンマイ大学		
82		チュラロンコン大学	○	
83		プリンスオブソンクラー大学		
84		キングモンクット工科大学ラカバン校	○	
85	インドネシア	バンドン工科大学	○	
86		インドネシア大学		
87		ガジャマダ大学	○	
88		ウダヤナ大学		
89	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	○	
90		アテネオ・デ・マニラ大学		
91		デ・ラ・サール大学		
92	カンボジア	王立芸術大学		
93		カンボジア工科大学		
94	インド	インド科学院大学	○	
95		インド統計大学		
96		ゴカレ政治経済研究所		
97		ジャワハルラー・ネルー大学		
98		ジャダプール大学		
99		マニパル大学	○	
100	モンゴル	モンゴル国立大学		
101	バングラデシュ	ダッカ大学		
102	豪州	西シドニー大学	○	
103		UNSWシドニー	○	
104		南オーストラリア大学		
105		クイーンズランド工科大学	○	
106		アデレード大学	○	
107		マッコーリー大学	○	
108		シドニー工科大学	○	
109		グリフィス大学		
110	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		

	国名	協定大学名	学生交流	備考
111	トルコ	中東工科大学	○	
112		ボアジチ大学(ボスポラス大学)		
113	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
114	英国	シェフィールド大学	○	
115		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール校		
116		ヨーク・セント・ジョン大学		
117		ロンドン大学クィーン・メアリー校		
118		マンチェスター大学	○	
119		バーミンガム大学		
120		ブライトン大学		
121		イースト・アングリア大学	○	
122		イーストロンドン大学		
123		ロンドン大学	○	
124		ケンブリッジ大学ペンプルック校		
125		ハル大学		
126	ドイツ	フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)	○	
127		ツェッペリン大学		
128		ジーゲン大学	○	
129		パッサウ大学	○	
130		ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)	○	
131	フランス	ランス大学	○	
132		パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)	○	コンソーシアム型留学
133		パリ第9大学(ドフィーズ)	○	コンソーシアム型留学
134		トゥールーズ第1キャピトル大学	○	
135		フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO)	○	
136		リヨン第3大学	○	
137		ヴェルサイユ大学	○	
138		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
139		エクス・マルセイユ大学	○	
140		パリ第7大学(デイドロ)	○	
141		モダール・インターナショナル学院		
142		リヨン政治学院	○	
143		ジョセフ・フーリエ大学		
144		ストラスブール大学	○	
145		トゥールーズ政治学院	○	
146		リヨン第2大学	○	
147	オーストリア	ウィーン大学	○	
148		ウィーン経済・経営大学		
149		クーフシュタイン・チロル応用科学大学	○	
150	スウェーデン	リンシェーピン大学	○	
151		セーデルトーン大学	○	
152	スイス	チューリッヒ大学	○	
153	イタリア	シエナ大学	○	
154		ヴェネツィア大学	○	
155		ミラノ大学	○	
156		フィレンツェ大学	○	
157		シエナ外国人大学	○	
158		ミラノ工科大学	○	
159	スペイン	アリカンテ大学	○	語学研修
160		ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
161		バレンシア大学	○	
162		モンドラゴン大学		
163		サラマンカ大学	○	
164	ギリシャ	クレタ大学		
165	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学		
166		リエージュ大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
167	ロシア	プレハーノフ経済大学	○	
168		クラスノヤルスク国立教育大学	○	
169		国立経営大学	○	
170		モスクワ国立大学	○	
171		サンクトペテルブルク国立経済大学		
172		モスクワ国際関係大学		
173		ロシア国立研究大学高等経済学院		
174		オムスク国立大学		
175		サンクトペテルブルク工科大学	○	
176		ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	○
177	ポーランド	ウッジ大学	○	
178		ボズナン経済大学		
179	リトアニア	ヴィータウタス・マグナス大学		
180		ミーコラス・ロメリス大学	○	
181	ルーマニア	ブカレスト大学	○	
182	ブルガリア	ソフィア大学	○	
183	セルビア	ベオグラード大学	○	
184	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
185		バニャルカ大学		
186	ノルウェー	インランドノルウェー応用科学大学	○	
187	ウクライナ	キエフ国立大学		
188	オランダ	ライデン大学	○	
189	米国	カリフォルニア大学バークレー校	○	
190		オレゴン大学	○	
191		アイオワ大学	○	
192		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
193		ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	
194		アラバマ大学	○	
195		ミズーリ州立大学	○	
196		カンザス大学		
197		ノースイースタン大学	○	
198		インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校	○	
199		南カリフォルニア大学		
200		メンフィス大学	○	
201		テンプル大学	○	
202		テンプル大学	○	デュアルディグリー
203		カリフォルニア大学デービス校	○	
204		南ユタ大学	○	
205		ラトガース大学		
206		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
207		カリフォルニア州立大学フラトン校	○	
208		ネブラスカ大学オマハ校	○	
209		北テキサス大学		
210		ミネソタ州立大学モアヘッド校	○	
211		ジョージア大学	○	
212		カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	○	
213		ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校		
214		カリフォルニア大学ロサンゼルス校		
215		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	○	
216		サンディエゴ州立大学	○	
217	カリフォルニア大学アーバイン校	○		
218	ミシガン州立大学			
219	テネシー大学マーティン校			
220	アリゾナ州立大学	○		
221	ペンシルベニア大学	○		
222	スタンフォード大学	○		

	国名	協定大学名	学生交流	備考	
223	米国	ノーザン州立大学	○		
224		カリフォルニア州立大学ノースリッジ校	○		
225		セントラル・オクラホマ大学	○		
226		サンフランシスコ州立大学	○		
227		カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	○		
228		ウィチタ州立大学	○		
229		ヤングスタウン州立大学	○		
230		ミズーリ・サザン州立大学	○		
231		ハワイ大学ヒロ校	○		
232		カナダ	ヨーク大学	○	
233			アルバータ大学	○	
234	モントリオール大学		○		
235	マクマスター大学		○	語学研修	
236	ユーコン・カレッジ		○	語学研修	
237	ラヴァル大学				
238	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○		
239		グアナファト大学	○		
240	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学	○		
241		サンパウロ大学	○		
242		リオ・ブランコ大学	○		
243	アルゼンチン	ラプラタ国立大学	○		
244	コロンビア	エアフィット大学	○		
245		ホルヘ・タデオ・ロザーノ大学	○		
246		ロサリオ大学	○		
247	国際機関	国際連合食糧農業機関(FAO)			

計 247大学・機関

学部間等協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中央財経大学 商学院	○	政治経済学研究科 経営学研究科
2		北京大学 政府管理学院	○	政治経済学部
3		北京師範大学 歴史学院	○	文学部
4		中山大学 国際商学院	○	経営学部
5		対外経済貿易大学 国際商学院	○	経営学部
6		西南交通大学 公共管理学院	○	政治経済学部
7		南京師範大学 法学院	○	法学部 法学研究科 法科大学院
8		山東大学 物理学部, 化学・化学工学部, 生命科学部		理工学部
9		東北財経大学 公共管理学院	○	政治経済学部
10		香港城市大学 商学院 香港城市大学 人文社会科学学院	○ ○	経営学部 情報コミュニケーション学部
11	韓国	高麗大学 文科大学	○	文学部
12		ソウル大学 経営大学	○	経営学部
13		延世大学 政治経済大学 延世大学 社会科学大学政治外交学科	○ ○	政治経済学部 政治経済学部
14		全北大学 人文大学	○	情報コミュニケーション学部
15		韓国刑事政策研究院		法学研究科
16		成均館大学 芸術大学・芸術大学院	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科
17		又松大学 経営大学院	○	経営学研究科
18	台湾	国立台湾大学 生物資源・農学院農業経済学部		農学部
		国立台湾大学 法律学院	○	法学研究科
		国立台湾大学 社会科学院	○	政治経済学部
19		国立屏東科技大学 農学部, 工学部	○	農学部
20		弘光科技大学 工学院	○	理工学部
21		国立台北科技大学 機電学院		理工学部
22		国立台湾師範大学 文学院	○	文学部
23	国立台湾科技大学 設計学院		理工学部	
24	ベトナム	ハノイ大学 日本語学部	○	情報コミュニケーション学部
25		ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 東洋言語文化学部 ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 日本語文化学部	○ ○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学部
26		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 国際関係学部	○	政治経済学部
27		貿易大学(ハノイ)	○	情報コミュニケーション学部
28		越日工業大学	○	情報コミュニケーション学部
29		タイグエン大学 理学部		理工学部
30	マレーシア	マレーシア工科大学 ラザックスクール・オブ・エンジニアリング・アンド・アドバンスド・テクノロジー	○	経営学研究科 ダブルディグリー
31		モナシュ大学マレーシア校 ジェフリー・チェアー医学部モナシュサンウェイ脳科学研究所	○	農学部
32	ラオス	ラオス国立大学	○	情報コミュニケーション学部
33	シンガポール	シンガポール国立大学 設計・環境学部	○	理工学部
34		南洋理工大学 人文社会科学部	○	政治経済学部
35	タイ	シーナカリンウィロート大学 サステイナビリティ研究国際学部	○	経営学部
		シーナカリンウィロート大学 社会科学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 人文学部	○	情報コミュニケーション学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	政治経済学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	経営学部
		シーナカリンウィロート大学 経済・公共政策学部	○	農学部
		シーナカリンウィロート大学 農産物革新・技術学部	○	農学部
	シーナカリンウィロート大学 工学部	○	理工学部	
36		タマサート大学 政治学部	○	政治経済学部

	国名	協定大学名	学生交流	備考
37	タイ	チェンマイ大学 経済学部	○	政治経済学部
		チェンマイ大学 政治・公共管理学部	○	政治経済学部
38		チェンマイラジャパット大学 農業技術学部		農学部
		チュラロンコン大学 経済学部	○	政治経済学部
		チュラロンコン大学 建築学部	○	理工学部
39		チュラロンコン大学 政治学部	○	政治経済学部
		チュラロンコン大学 理学部	○	理工学部
		チュラロンコン大学 理学部	○	農学部
40		プリンスオブソンクラーク大学 経済学部	○	政治経済学部
41			キングモンクット工科大学トンプリ校 生物資源工学部	
		キングモンクット工科大学ラカバン校 行政経営学部	○	政治経済学部
42		カセサート大学カンペンセン校 農学部	○	農学部
43	インドネシア	インドネシア大学 社会政治学部	○	政治経済学部
44		ペトラクリスチャン大学	○	政治経済学部
45		ウダヤナ大学	○	国際日本学部
46	フィリピン	デ・ラ・サール大学 法科大学院		法学部 法学研究科 法科大学院
47		デ・ラ・サール大学 ビジネス学部		商学部
48		ヌエバ・ビスカヤ州立大学 農学部		農学部
49	南アフリカ	ケープタウン大学 工学・建築環境学部		理工学部
50	オーストラリア	南オーストラリア大学 ビジネススクール	○	経営学研究科
51	ニュージーランド	マッセー大学	○	経営学研究科
52	英国	カーディフ大学 カーディフビジネススクール	○	商学部
		カーディフ大学 カーディフビジネススクール	○	経営学部
53		オックスフォード大学ハートフォード校	○	国際日本学部
54		サセックス大学 ビジネス・経営・経済学部		経営学研究科
		サセックス大学	○	政治経済学部
55		ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス サマースクール	○	政治経済学部
56	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学	○	商学部
57		ビーレフェルト大学 言語学および文学部	○	文学部
58		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学部
		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学研究科
59		ヴッパータール大学	○	理工学部
60		バンベルク大学 人文学部	○	文学部
61		パイロイト大学 法経済学部	○	法学部 法学研究科
62		ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン 言語学・文化学・芸術学部	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科
63		アウクスブルク大学 法学部		法学部 法学研究科 法科大学院
64		フランス	IPAGビジネススクール	○
65	トゥールーズ第1キャピトル大学 経営管理大学院		○	経営学研究科
66	レンヌ商科大学		○	商学部
67	パリ商業高等大学		○	商学部
68	ESCEMビジネスマネジメントスクール		○	経営学部
69	パリ第7大学(デイドロ)		○	文学部
70	レンヌ第1大学 経営学院		○	経営学研究科
71	オーデンシア・ナント経営学院		○	経営学研究科
72	パリカトリック大学 パリ電子工学院		○	理工学部
73	パリ国立建築大学ラ・ヴィレット校		○	理工学部
74	ボルドー・モンテーニュ大学		○	文学部
75	スウェーデン	セーデルトーン大学	○	国際日本学部
76		ルンド大学	○	政治経済学部 国際日本学部
77	イタリア	トリノ大学 農林・食品科学部		農学部

	国名	協定大学名	学生交流	備考
78	スペイン	IE大学	○	経営学部
79		ESADEビジネススクール	○	政治経済学部
80	ベルギー	ゲント大学 生物科学工学部		農学部
81	フィンランド	東フィンランド大学 社会科学・ビジネス学部	○	政治経済学部
		東フィンランド大学 社会科学・ビジネス学部	○	経営学部
82	オランダ	ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	政治経済学部
		ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	経営学部
83	米国	ボストン大学	○	政治経済学部
84		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		農学部
85		オレゴン大学 建築・芸術学部	○	理工学部
		オレゴン大学	○	国際日本学部
86		ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	国際日本学部
87		アラバマ大学	○	国際日本学部
88		フロリダ州立大学	○	国際日本学部
89		ハワイ大学マノア校 熱帯農業人的資源学部	○	農学部
		ハワイ大学マノア校 アウトリーチカレッジ	○	国際日本学部
		ハワイ大学マノア校 ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院		法学部 法学研究科 法科大学院
90		テンプル大学 教養学部	○	政治経済学部 デュアルディグリー
		カリフォルニア大学デービス校 教育学部	○	農学部
91		デューク大学 大学院及びアジア太平洋研究所	○	政治経済学研究科
92		ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
93		ワシントン大学 建造環境学部	○	理工学部
94		ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校	○	国際日本学部
95		シラキュース大学	○	政治経済学部
96		カリフォルニア州立大学モンレーベイ校	○	情報コミュニケーション学部
97		グリーンリバーカレッジ	○	国際日本学部
98		エドモンズコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
99		ピアスカレッジ	○	国際日本学部
100		ショアラインコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
101		ビュートカレッジ	○	国際日本学部
102		エベレットコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
103		ミシガン州立大学 農学・自然資源学部食農・自然資源国際連携センター	○	農学部
104		フットヒルカレッジ	○	国際日本学部
105		オーロニカレッジ	○	国際日本学部
106		コントラ コスタ コミュニティカレッジ ディストリクト	○	国際日本学部
107	サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		農学部	
108	カナダ	ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール	○	経営学部
		ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール	○	経営学部
		ヴィクトリア大学 グスタフソンビジネススクール	○	経営学部 デュアルディグリー
109	カナダ	トロント大学 生涯学習学部	○	文学部
		トロント大学 生涯学習学部		国際日本学部
110	ブラジル	サンパウロ大学 法学部	○	法学部 法学研究科 法科大学院

計 110大学

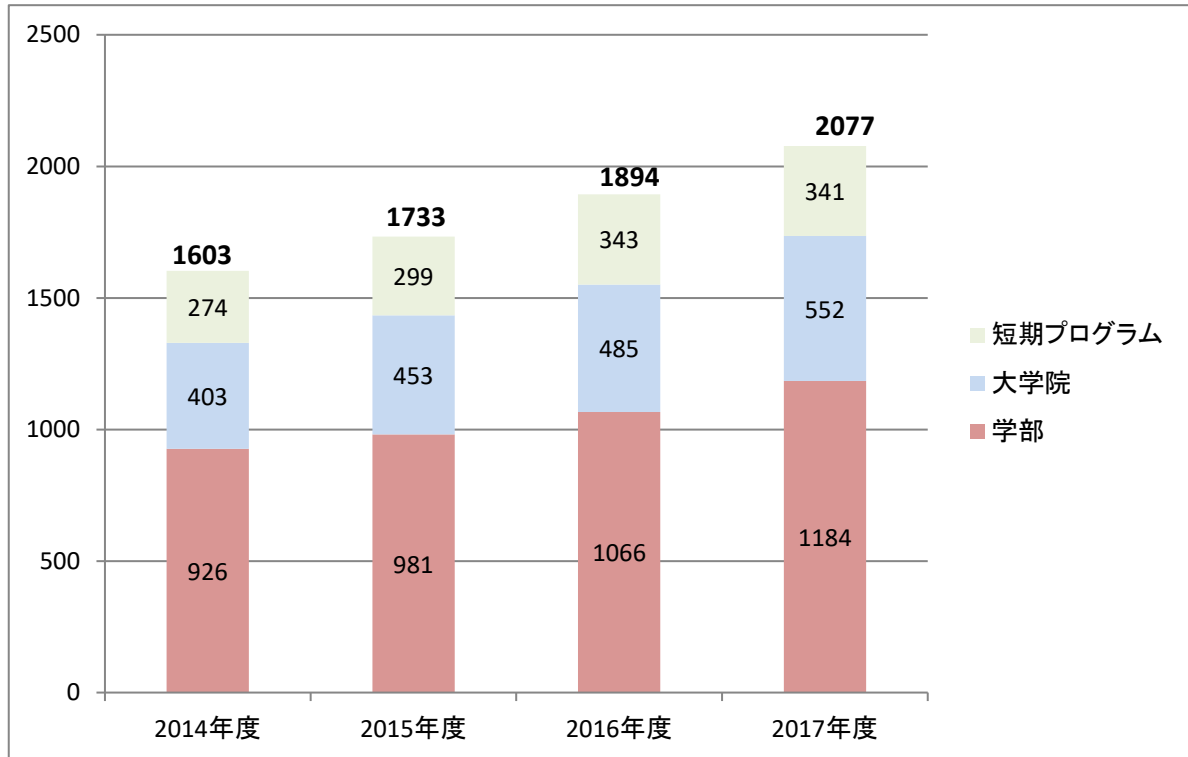
その他部局間(研究所間)協定校

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	国立交通大学 数学建模科学計算研究所		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム科学技術院 ハノイ数学研究所		先端数理科学インスティテュート
3	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所(IAC)		先端数理科学インスティテュート
4	英国	オックスフォード大学 数理生物学センター		先端数理科学インスティテュート
5	スペイン	コンプルテンセ大学 学際数学研究所		先端数理科学インスティテュート
6	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター(CAMS)		先端数理科学インスティテュート
7	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター
8	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部V.I.イリチェフ太平洋海洋学研究所		ガスハイドレート

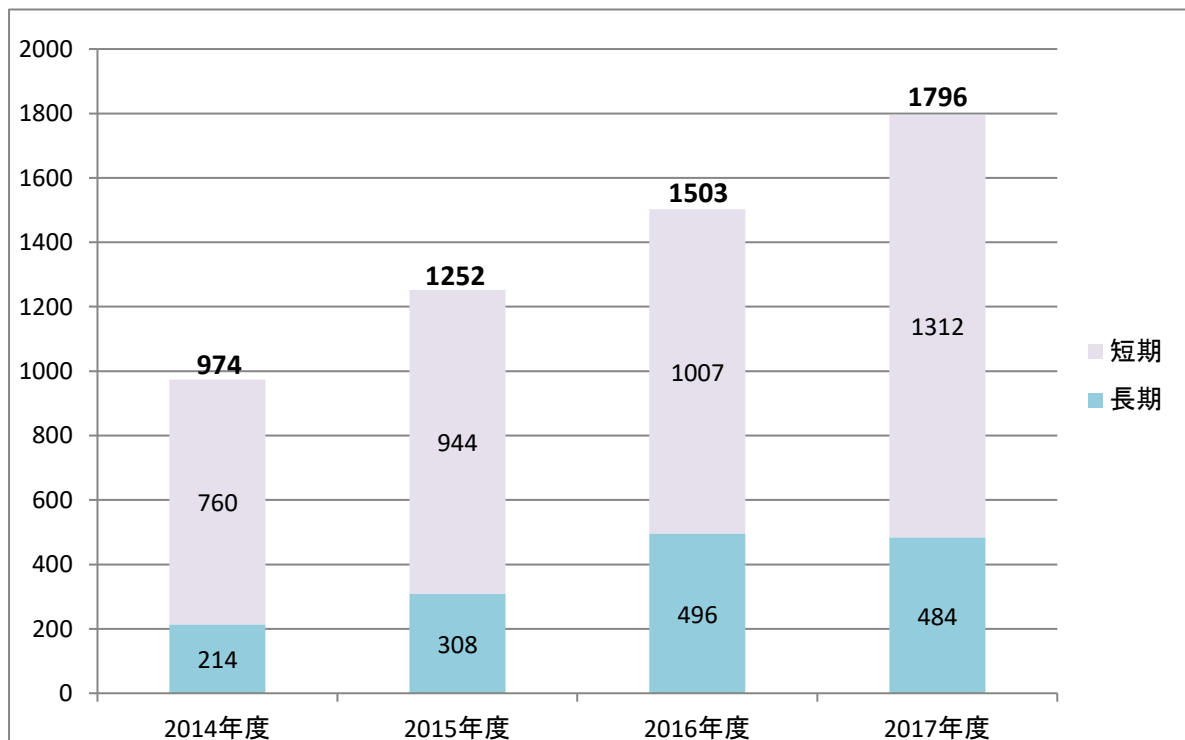
計 8大学等

(2)外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

①外国人受入留学生数



②海外派遣留学生数



【2018年度 一般選抜入学試験結果】

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部		385	4,534	3,091	1,443	3,968	2,712	1,256	681	480	201	350	254	72.6	5.8	
商学部	一般選抜方式	485	8,414	6,035	2,379	7,472	5,364	2,108	1,100	815	285	350	254	72.6	6.8	
	英語4技能試験活用方式	15	416	240	176	372	218	154	50	30	20	350	249	71.1	7.4	
	計	500	8,830	6,275	2,555	7,844	5,582	2,262	1,150	845	305				6.8	
政治経済学部	政治学	105	1,596	1,165	431	1,471	1,073	398	398	294	104	350	232	66.3	3.7	
	経済学	290	5,025	4,101	924	4,699	3,845	854	945	754	191	350	229	65.4	5.0	
	地域行政学	70	816	582	234	772	550	222	133	93	40	350	227	64.9	5.8	
	計	465	7,437	5,848	1,589	6,942	5,468	1,474	1,476	1,141	335				4.7	
文学部	文学科	日本文学	70	1,172	480	692	1,056	434	622	155	60	95	300	190	63.3	6.8
		英米文学	68	806	350	456	739	316	423	167	67	100	300	187	62.3	4.4
		ドイツ文学	23	274	112	162	250	101	149	58	23	35	300	186	62.0	4.3
		フランス文学	24	335	113	222	307	103	204	57	22	35	300	184	61.3	5.4
		演劇学	28	385	84	301	357	75	282	55	15	40	300	187	62.3	6.5
		文芸メディア	43	680	255	425	622	232	390	99	33	66	300	193	64.3	6.3
	史学地理学科	日本史学	51	858	535	323	783	490	293	104	63	41	300	191	63.7	7.5
		アジア史	20	224	118	106	193	104	89	50	30	20	300	187	62.3	3.9
		西洋史学	31	546	326	220	485	294	191	106	70	36	300	197	65.7	4.6
		考古学	24	305	176	129	279	167	112	56	35	21	300	180	60.0	5.0
	心理社会学科	地理学	25	313	236	77	282	214	68	55	44	11	300	184	61.3	5.1
		臨床心理学	24	570	206	364	505	183	322	71	21	50	300	192	64.0	7.1
		現代社会学	26	541	235	306	488	211	277	58	20	38	300	196	65.3	8.4
		哲学	22	315	181	134	266	148	118	50	22	28	300	187	62.3	5.3
	計	479	7,324	3,407	3,917	6,612	3,072	3,540	1,141	525	616				5.8	
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	80	1,161	1,084	77	1,108	1,036	72	289	270	19	360	245	68.1	3.8
		生命理工学	27	391	294	97	371	283	88	114	78	36	360	245	68.1	3.3
	機械工学科	75	1,825	1,694	131	1,750	1,628	122	375	350	25	360	263	73.1	4.7	
	機械情報工学科	66	867	782	85	838	754	84	204	176	28	360	249	69.2	4.1	
	建築学科	96	1,952	1,406	546	1,877	1,354	523	288	230	58	360	270	75.0	6.5	
	応用化学科	60	1,338	1,001	337	1,292	965	327	400	303	97	360	253	70.3	3.2	
	情報科学科	65	1,751	1,556	195	1,674	1,485	189	230	201	29	360	267	74.2	7.3	
	数学科	32	510	422	88	483	401	82	142	118	24	360	236	65.6	3.4	
	物理学科	36	710	628	82	674	595	79	259	230	29	360	242	67.2	2.6	
	計	537	10,505	8,867	1,638	10,067	8,501	1,566	2,301	1,956	345				4.4	
農学部	農学	90	1,301	884	417	1,115	765	350	235	142	93	300	214	71.3	4.7	
	農芸化学科	100	1,016	402	614	886	358	528	202	65	137	300	216	72.0	4.4	
	生命科学科	92	1,430	815	615	1,205	696	509	276	150	126	300	217	72.3	4.4	
	食料環境政策学科	79	1,543	934	609	1,408	858	550	158	97	61	300	216	72.0	8.9	
	計	361	5,290	3,035	2,255	4,614	2,677	1,937	871	454	417				5.3	
経営学部	一般選抜3科目方式	経営学	355	7,944	5,819	2,125	7,646	5,599	2,047	1,263	936	327	350	225	64.3	6.1
		会計学	40	296	136	160	279	125	154	107	39	68	230	130	56.5	2.6
	英語4技能試験活用方式	40	296	136	160	279	125	154	107	39	68	230	130	56.5	2.6	
	計	395	8,240	5,955	2,285	7,925	5,724	2,201	1,370	975	395				5.8	
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	392	5,392	2,964	2,428	5,240	2,861	2,379	877	465	412	300	196	65.3	6.0	
国際日本学部	国際日本学科	230	3,773	1,303	2,470	3,667	1,252	2,415	712	240	472	450	351	78.0	5.2	
総合数理学部	現象数理学科	35	684	540	144	592	464	128	88	75	13	320	180	56.3	6.7	
	先端メディアサイエンス学科	50	1,001	755	246	902	676	226	113	80	33	320	175	54.7	8.0	
	ネットワークデザイン学科	34	406	352	54	342	297	45	35	28	7	320	176	55.0	9.8	
	計	119	2,091	1,647	444	1,836	1,437	399	236	183	53				7.8	
一般選抜入学試験 合計		3,863	63,416	42,392	21,024	58,715	39,286	19,429	10,815	7,264	3,551				5.4	

【2018年度 全学部統一入学試験結果】

	学部・方式・学科(専攻)		募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者
				計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子				
法学部		法律学科	115	2,677	1,799	878	2,599	1,740	859	518	344	174	300	227	75.7	5.0
商学部		商学科	80	2,312	1,563	749	2,268	1,532	736	297	194	103	450	349	77.6	7.6
政治経済学部		政治学科	20	542	392	150	521	376	145	60	47	13	350	279	79.7	8.7
		経済学科	50	1,512	1,223	289	1,449	1,171	278	104	86	18	350	279	79.7	13.9
		地域行政学科	20	321	221	100	315	218	97	31	19	12	350	270	77.1	10.2
		計	90	2,375	1,836	539	2,285	1,765	520	195	152	43				11.7
文学部	文学科	日本文学	16	410	194	216	396	187	209	57	23	34	300	228	76.0	6.9
		英米文学	18	559	227	332	552	222	330	76	41	35	300	227	75.7	7.3
		ドイツ文学	7	166	74	92	161	69	92	24	9	15	300	226	75.3	6.7
		フランス文学	7	126	39	87	124	39	85	21	7	14	300	225	75.0	5.9
		演劇学	8	209	47	162	204	46	158	19	5	14	300	231	77.0	10.7
		文芸メディア	7	258	89	169	257	88	169	28	10	18	300	236	78.7	9.2
	史学地理学科	日本史学	15	330	198	132	320	193	127	45	26	19	300	232	77.3	7.1
		アジア史	6	101	57	44	100	56	44	18	9	9	300	224	74.7	5.6
		西洋史学	8	167	100	67	160	97	63	28	18	10	300	226	75.3	5.7
		考古学	6	112	71	41	109	70	39	17	8	9	300	225	75.0	6.4
	心理社会学科	地理学	10	161	115	46	158	115	43	26	22	4	300	219	73.0	6.1
		臨床心理学	11	347	129	218	333	123	210	33	6	27	300	229	76.3	10.1
		現代社会学	10	305	143	162	296	136	160	43	20	23	300	233	77.7	6.9
		哲学	9	157	85	72	152	81	71	25	13	12	300	222	74.0	6.1
	計	138	3,408	1,568	1,840	3,322	1,522	1,800	460	217	243				7.2	
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	20	397	371	26	373	348	25	103	98	5	400	275	68.8	3.6
		生命理工学	10	145	107	38	140	103	37	33	27	6	400	279	69.8	4.2
	機械工学科	12	474	435	39	413	380	33	96	87	9	400	299	74.8	4.3	
	機械情報工学科	17	239	223	16	225	210	15	65	58	7	400	279	69.8	3.5	
	建築学科	21	709	508	201	658	474	184	94	69	25	400	298	74.5	7.0	
	応用化学科	12	308	222	86	275	196	79	85	67	18	400	266	66.5	3.2	
	情報科学科	12	515	444	71	476	411	65	59	55	4	400	303	75.8	8.1	
	数学科	10	275	223	52	262	210	52	55	47	8	400	281	70.3	4.8	
	物理学科	5	197	164	33	177	152	25	45	42	3	400	286	71.5	3.9	
	計	119	3,259	2,697	562	2,999	2,484	515	635	550	85				4.7	
農学部	農学科	20	508	330	178	480	309	171	119	63	56	300	215	71.7	4.0	
	農芸化学科	15	391	133	258	386	132	254	61	19	42	300	223	74.3	6.3	
	生命科学科	15	511	306	205	481	288	193	109	59	50	300	216	72.0	4.4	
	食料環境政策学科	8	443	240	203	425	227	198	51	16	35	300	222	74.0	8.3	
	計	58	1,853	1,009	844	1,772	956	816	340	157	183				5.2	
経営学部	経営学科	30	2,143	1,545	598	2,098	1,511	587	201	143	58	350	273	78.0	10.4	
	会計学科															
	公共経営学科															
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	25	1,480	764	716	1,446	742	704	171	85	86	350	265	75.7	8.5	
国際日本学部	国際日本学科	28	1,166	407	759	1,148	400	748	91	42	49	400	314	78.5	12.6	
総合数理学部	3科目方式	現象数理学科	4	72	49	23	69	46	23	16	10	6	400	260	65.0	4.3
		先端メディアサイエンス学科	7	75	50	25	71	46	25	8	5	3	400	265	66.3	8.9
		ネットワークデザイン学科	3	69	49	20	62	45	17	3	2	1	400	290	72.5	20.7
	4科目方式	現象数理学科	13	189	155	34	185	152	33	49	45	4	500	329	65.8	3.8
		先端メディアサイエンス学科	20	334	236	98	322	225	97	34	23	11	500	360	72.0	9.5
		ネットワークデザイン学科	19	210	169	41	201	162	39	90	69	21	500	309	61.8	2.2
	計	66	949	708	241	910	676	234	200	154	46				4.6	
全学部統一入学試験 合計			749	21,622	13,896	7,726	20,847	13,328	7,519	3,108	2,038	1,070				6.7

【2018年度 大学入試センター試験利用入学試験結果】

学部・方式・学科(専攻)			募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者	
				計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子		
法学部	3科目方式	法学科	60	2,113	1,319	794	2,108	1,315	793	384	224	160	5.5	
	4科目方式	法学科	45	651	405	246	651	405	246	233	137	96	2.8	
	5科目方式	法学科	35	1,925	1,317	608	1,919	1,313	606	802	558	244	2.4	
	計			140	4,689	3,041	1,648	4,678	3,033	1,645	1,419	919	500	3.3
商学部	3科目方式	商学科	50	1,724	1,119	605	1,721	1,116	605	179	101	78	9.6	
	4科目方式	商学科	45	877	597	280	877	597	280	240	155	85	3.7	
	6科目方式	商学科	30	755	509	246	755	509	246	217	140	77	3.5	
	計			125	3,356	2,225	1,131	3,353	2,222	1,131	636	396	240	5.3
政治経済学部	3科目方式	政治学科	10	487	323	164	486	323	163	21	11	10	23.1	
		経済学科	20	879	693	186	875	689	186	28	19	9	31.3	
		政治学科	15	589	416	173	587	414	173	136	101	35	4.3	
	7科目方式	経済学科	50	2,398	1,915	483	2,369	1,896	473	388	311	77	6.1	
		地域行政学科	15	164	106	58	163	105	58	36	17	19	4.5	
計			110	4,517	3,453	1,064	4,480	3,427	1,053	609	459	150	7.4	
文学部	3科目方式	文学科	日本文学	7	553	229	324	551	227	324	94	30	64	5.9
			英米文学	6	331	134	197	330	134	196	72	28	44	4.6
			ドイツ文学	3	96	34	62	96	34	62	18	6	12	5.3
			フランス文学	2	208	69	139	208	69	139	19	6	13	10.9
			演劇学	3	175	41	134	175	41	134	18	3	15	9.7
			文芸メディア	5	309	102	207	308	102	206	52	16	36	5.9
	3科目方式	史学地理学科	日本史学	6	340	210	130	340	210	130	53	29	24	6.4
			アジア史	3	111	47	64	111	47	64	30	13	17	3.7
			西洋史学	4	230	123	107	229	122	107	48	23	25	4.8
			考古学	3	139	73	66	139	73	66	20	9	11	7.0
			地理学	4	115	79	36	115	79	36	22	13	9	5.2
			臨床心理学	4	298	98	200	298	98	200	39	12	27	7.6
	3科目方式	心理社会学科	現代社会学	4	339	125	214	336	123	213	51	21	30	6.6
			哲学	4	188	103	85	188	103	85	42	31	11	4.5
			日本文学	3	86	35	51	85	35	50	14	6	8	6.1
			英米文学	3	44	22	22	44	22	22	16	10	6	2.8
	5科目方式	文学科	ドイツ文学	2	15	7	8	15	7	8	8	3	5	1.9
			フランス文学	2	17	6	11	16	6	10	9	3	6	1.8
			演劇学	2	28	11	17	28	11	17	6	3	3	4.7
			文芸メディア	2	41	21	20	41	21	20	11	8	3	3.7
			日本史学	4	97	62	35	97	62	35	22	8	14	4.4
			アジア史	2	27	17	10	27	17	10	7	5	2	3.9
	5科目方式	史学地理学科	西洋史学	2	45	30	15	44	30	14	17	12	5	2.6
			考古学	2	43	24	19	43	24	19	14	9	5	3.1
			地理学	2	48	38	10	48	38	10	11	10	1	4.4
			臨床心理学	2	63	26	37	61	24	37	12	5	7	5.1
	5科目方式	心理社会学科	現代社会学	2	76	27	49	75	27	48	12	5	7	6.3
哲学			2	48	33	15	48	33	15	16	12	4	3.0	
計			90	4,110	1,826	2,284	4,096	1,819	2,277	753	339	414	5.4	
理工学部	3教科方式	電気電子生命学科	電気電子工学	9	876	808	68	874	806	68	193	178	15	4.5
			生命理工学	3	352	262	90	351	261	90	80	59	21	4.4
		機械工学科		5	948	884	64	945	881	64	180	166	14	5.3
		機械情報工学科		9	624	563	61	620	559	61	171	143	28	3.6
	情報科学科		10	1,209	1,050	159	1,203	1,044	159	214	181	33	5.6	
	4教科方式	電気電子生命学科	電気電子工学	5	265	223	42	264	222	42	97	87	10	2.7
			生命理工学	2	148	91	57	146	89	57	40	21	19	3.7
		機械工学科		7	634	552	82	631	550	81	147	121	26	4.3
		建築学科		14	1,219	819	400	1,214	816	398	197	127	70	6.2
		応用化学科		7	853	589	264	852	589	263	228	165	63	3.7
		数学科		6	382	312	70	381	311	70	116	101	15	3.3
		物理学科		7	455	379	76	453	377	76	169	148	21	2.7
	計			84	7,965	6,532	1,433	7,934	6,505	1,429	1,832	1,497	335	4.3

大学入試センター試験利用入学試験(前期日程)

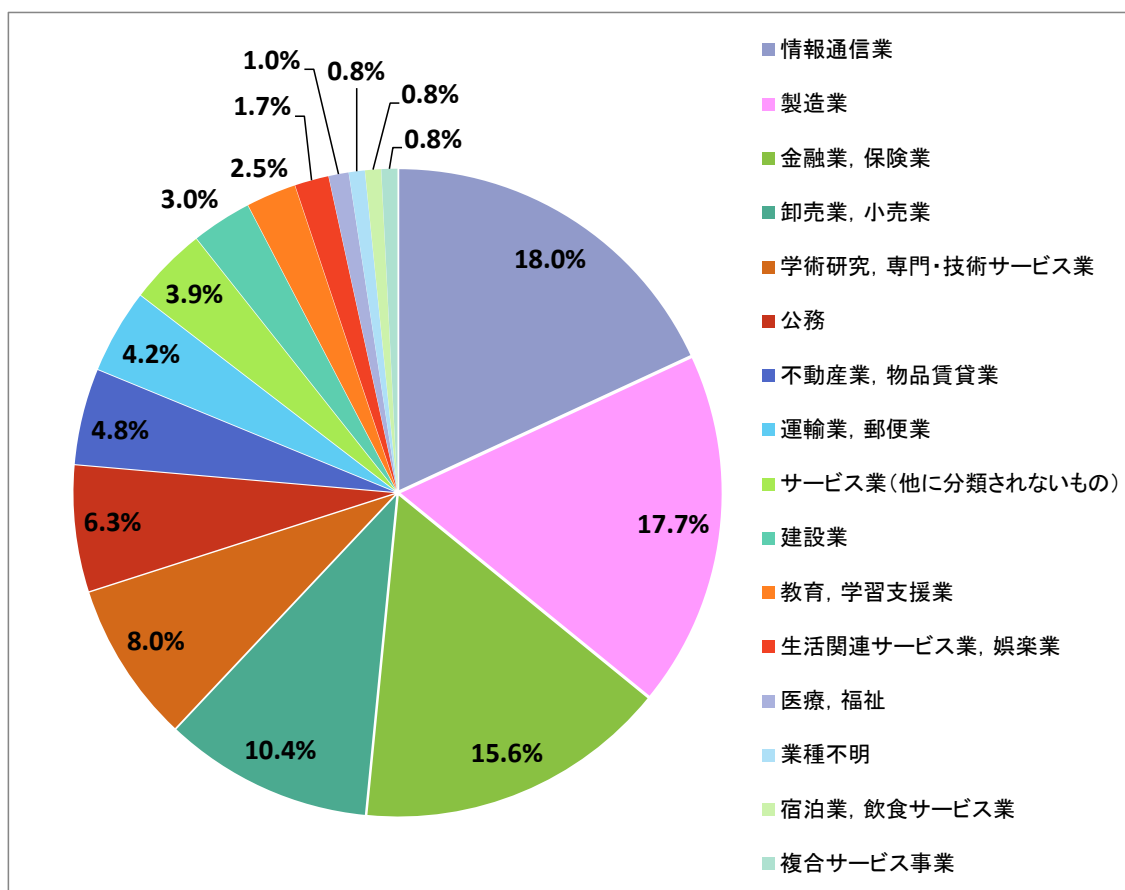
農 学 部		農 学 科	12	662	423	239	651	415	236	211	124	87	3.1
		農 芸 化 学 科	10	513	158	355	509	155	354	109	30	79	4.7
		生 命 科 学 科	15	825	455	370	818	451	367	243	136	107	3.4
		食 料 環 境 政 策 学 科	16	617	321	296	617	321	296	139	63	76	4.4
		計	53	2,617	1,357	1,260	2,595	1,342	1,253	702	353	349	3.7
經 営 学 部	3科目方式	經 営 学 科											
		会 計 学 科	30	2,302	1,608	694	2,299	1,605	694	284	176	108	8.1
	4科目方式	經 営 学 科											
		会 計 学 科	25	1,138	793	345	1,138	793	345	228	137	91	5.0
		公 共 經 営 学 科											
	計	55	3,440	2,401	1,039	3,437	2,398	1,039	512	313	199	6.7	
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	3科目方式	情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	30	1,387	743	644	1,371	731	640	256	156	100	5.4
	6科目方式	情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	10	254	134	120	253	134	119	90	48	42	2.8
		計	40	1,641	877	764	1,624	865	759	346	204	142	4.7
国 際 日 本 学 部	3科目方式	国 際 日 本 学 科	20	1,278	395	883	1,276	394	882	129	40	89	9.9
	4科目方式	国 際 日 本 学 科	10	350	114	236	350	114	236	81	28	53	4.3
		計	30	1,628	509	1,119	1,626	508	1,118	210	68	142	7.7
總 合 数 理 学 部		現 象 数 理 学 科	7	227	175	52	227	175	52	53	40	13	4.3
		先 端 メ デ ィ ア サ イ エ ン ス 学 科	10	393	264	129	388	259	129	50	36	14	7.8
		ネ ッ ト ワ ー ク デ ザ イ ン 学 科	4	164	125	39	161	122	39	42	33	9	3.8
		計	21	784	564	220	776	556	220	145	109	36	5.4
前期日程 小計			748	34,747	22,785	11,962	34,599	22,675	11,924	7,164	4,657	2,507	4.8

学入試センター試験利用入学試験（後期日程）	学部・方式・学科(専攻)			募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者
					計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
	商 学 部		商 学 科	30	219	155	64	211	151	60	61	42	19	3.5
理 工 学 部		電 気 電 子 生 命 学 科	電 気 電 子 工 学	3	26	25	1	26	25	1	7	7	0	3.7
			生 命 理 工 学	2	22	15	7	22	15	7	9	7	2	2.4
		機 械 情 報 工 学 科	3	28	24	4	28	24	4	7	6	1	4.0	
		建 築 学 科	3	24	19	5	23	18	5	6	5	1	3.8	
		応 用 化 学 科	2	31	22	9	31	22	9	10	6	4	3.1	
		情 報 科 学 科	3	27	25	2	27	25	2	6	6	0	4.5	
		数 学 科	2	21	14	7	21	14	7	5	3	2	4.2	
		物 理 学 科	2	26	23	3	26	23	3	6	4	2	4.3	
	計	20	205	167	38	204	166	38	56	44	12	3.6		
總 合 数 理 学 部		現 象 数 理 学 科	1	23	15	8	23	15	8	2	1	1	11.5	
		先 端 メ デ ィ ア サ イ エ ン ス 学 科	1	27	21	6	27	21	6	9	8	1	3.0	
		ネ ッ ト ワ ー ク デ ザ イ ン 学 科	1	20	16	4	20	16	4	1	1	0	20.0	
		計	3	70	52	18	70	52	18	12	10	2	5.8	
後期日程 小計			53	494	374	120	485	369	116	129	96	33	3.8	
大学入試センター試験利用入学試験 合計			801	35,241	23,159	12,082	35,084	23,044	12,040	7,293	4,753	2,540	4.8	

一般入試総計			5,413	120,279	79,447	40,832	114,646	75,658	38,988	21,216	14,055	7,161	5.4
--------	--	--	-------	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	-------	-----

(4) 業種別就職状況及び主な就職先

①業種別就職状況



②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	東京特別区	71
2	(株)みずほフィナンシャルグループ	66
3	三井住友海上火災保険(株)	44
4	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	40
5	損害保険ジャパン日本興亜(株)	37
6	日本郵政グループ	35
7	(株)三菱東京UFJ銀行	34
8	国家公務員 一般職	33
9	富士通(株)	31
9	(株)三井住友銀行	31
11	(株)リソナホールディングス	29
12	野村證券(株)	26
13	ANAホールディングス	24
14	東京都庁	23
15	(株)千葉銀行	22
15	東日本旅客鉄道(株)	22
17	(株)大和証券グループ本社	21
17	日本電気(株)	21
19	SCSK(株)	20
19	三井住友信託銀行(株)	20
19	三菱電機(株)	20

順位	内定先名称	人数
22	SMBC日興証券(株)	18
22	(株)日本政策金融公庫	18
24	JTBグループ【旅行事業会社群】	17
24	東京海上日動火災保険(株)	17
26	アクセンチュア(株)	16
26	警視庁	16
26	第一生命保険(株)	16
26	凸版印刷(株)	16
26	日本生命保険(相)	16
26	富士ソフト(株)	16
26	三井不動産リアルティ(株)	16
26	三菱UFJ信託銀行(株)	16
34	国税専門官	15
34	(株)商工組合中央金庫	15
34	セイコーエプソン(株)	15
34	大和ハウス工業(株)	15
34	日本放送協会	15
34	(株)日立システムズ	15
34	(株)日立製作所	15
34	みずほ証券(株)	15
34	有限責任(監法)トーマツ	15

2018年3月31日現在